
つくば教会だより 2024年11月号

編集:カトリックつくば教会 〒305-0834 茨城県つくば市手代木 261-6

TEL 029-836-1723 FAX 029-836-4136

ホームページ <https://www.catholic-tsukuba.com/>

“神に召された兄弟のための祈り”

休暇を取って故郷に帰ったときに私が一番にすることは、両親の墓を訪ね祈りを捧げることです。墓を訪ねると心の慰めを感じますが、新たに友人の墓を多く見つけるのは悲しいことです。

何年か前のある時、日本から帰国したときに、父と一緒に教会の墓地を訪ねたことがあります。父はそこに埋葬されている殆どの人々を知っていて、墓の前を通りながら、そこに埋葬されている人がどんな一生を過ごしたのか、家族や友人にどんな良い行いをしたのかを話してくれたのにびっくりしたことがあります。父は人々の良かったところだけを話してくれて、人はその人の良かったところだけで覚えていられるべきであるといつも話していました。その日、父は父の両親が亡くなってから40年以上も経っているけれども、毎日、両親のために祈りを捧げていると語ってくれました。そして、両親がとても親切であったこと、父にできることは、少なくとも祈りを捧げることであることを話してくれました。もし、私たちが自分の家族のために祈らなければ、誰が祈ってくれるのでしょうか。この時、私は司祭になってから10年以上経っていましたが、父は私に死者のための祈りについて講義をしてくれたのです。父は22年前に亡くなりましたが、私は今でも彼のためと、9年後に後を追った母のために毎日祈っています。

亡くなった人々は、ただ単にわたしたちの前から姿を消した訳ではありません。遅かれ早かれ、私たちも仲間に加わることを知っています。生きている私たちには、祈る時間があります。数分の祈りが私たちの永遠の助けになるかも知れません。私たちの亡くなった家族のために祈るばかりでなく、誰も祈ってくれない人々のために祈ることはとても良い考えです。

私はいつか死にます。これは、私が今生きていることと同じぐらい確かなことです。私たちは死ぬために生まれてきたのです。私たちは生きるために、天国で神とともに永遠に生きるために死ぬのです。私たちは、いつ、そして、どんなふうに神に召されるかを知ることはできませんから、その時

のために用意をしておかなければなりません。そのための時間は今しかありません。明日は、無いかも知れませんから。

今年の死者の日は11月2日の土曜日です。この日を含んで11月の毎日、私たちは神に召された私たちの家族と、つくば教会から天国に召された先輩のために祈らなければなりません。11月2日は、神に召された兄弟のための素晴らしい典礼を予定しています。神に召された私たちの家族とつくば教会の兄弟に永遠の平安が与えられますように。

カトリックつくば教会担当司祭 ウィリアム・ドネガン



(この巻頭言は1997年11月号教会だよりから引用したものです)

■信徒会より

◇下館教会新聖堂献堂式の報告

10月14日(月・祝)に下館教会の新聖堂献堂式と祝賀会が行われました。1965年に建てられた旧聖堂の老朽化や下館聖母幼稚園の建替えのため、今回の新聖堂建立となったものです。献堂式にはドネガン神父様をはじめとするイエズス・マリアの聖心会の神父様が参加される中、山野内司教様の司式によりミサが執り行われました。

つくば教会からは10名ほどが参加し、全体では200名ほどの参加がありました。新聖堂は白を基調としつつ正面には木を用い、小さいながらも静謐さと温かさを感じるものでした。これまでに献金等でご協力いただいた方々のおかげであると感謝します。祝賀会では、フィリピン人のグループが大活躍で、多国籍教会であることを強く認識しました。

◇死者の月に関して

11月2日(土)10時から死者の日ミサが行われます。ドネガン神父様の巻頭言にもありますように、神様に召された私たちの家族と、つくば教会から天国に召された先輩のためにお祈りを致しましょう。

また、例年通り聖堂内に死者の月の祭

壇を設置しました。祭壇脇にカードを用意致しますので、ご家族等で亡くなられた方のお名前を記入してお祈りください。(典礼司牧)

◇七五三の祝福について

11月10日(日)日本語ミサにおいて七五三の祝福が行われます。信徒のお子様には、菓子袋が用意されますので、多くのお子様の参加をお待ちしています。(典礼司牧)

■部会報告

◇共愛会つくば教会訪問について

10月6日(日)共愛会のメンバー10名がつくば教会を来訪されました。つくば教会来訪は5年前から計画されておりましたがコロナ禍で延び延びになり、今回漸く実現しました。「共愛会」はその名の通り、障害のある人もない人も共に神の子として愛し、助け合おうという主旨の会です。残念ながら教区内教会でもその会の存在や活動があまり知られていないので、広く信徒の皆様にご頂戴いただき、また活動に参加のお誘いのため来訪されました。

昼食会をはさんだ「分かち合い」には、つくば教会からもドネガン神父様と13名が参加し、共愛会の方々からのお話に大変感銘を受ける有意義な交流会とな

りました。「共愛会」のパンフレットは聖堂入り口に置いてあります。どうぞお手にとってご覧ください。

(手話グループ)

「聖歌は3倍の祈り」と聞きましたが、この歌詞を読んで、彼らが聖歌を歌いたい気持ちが良くわかりました。当日彼らが歌う聖歌にあらためて感動しました。(典礼司牧部)

◇堅信式おめでとうございます

10月13日(日)、さいたま教区山野内倫昭司教様の司式で堅信式が行われました。エザベス・ローザ・ソ・ウリさん、アントニウス・トシムルさん、マリア・ハクミさん、エザベス・アユミさん、ティヌカ・デ・インさん、ゲハサ・ミツさん、シオン・アンブローズさん、カトウラージ・ヨシミさんの8名が、堅信を受けました。おめでとうございます。

皆さん熱心に堅信のための勉強会に参加し、大人としての信仰を深める準備ができました。これからは、聖霊に支えられながら教会で、学校で、社会で、主イエスに似た者として宣教して下さることを願っています。

堅信式のためにご準備くださったドネガン神父様と信徒の方々にお礼申し上げます。(CND Sr.高橋)

◇ベトナム語の聖歌「神の愛は偉大」

9月から、毎月第3主日の聖体拝領後の聖歌の1つをベトナムの青年たち20人ほどが歌ってくれています。

切っ掛けは、彼らの歌の練習を聞いたドネガン神父様が、日本語ミサで歌って欲しいとおっしゃられたことでした。そして10月13日(日)に歌われたのはこんな歌。歌詞の素晴らしさに感動し、特別に印刷して皆様にもお配りしました。「神の愛は偉大！」

神様の愛はとても偉大で素晴らしく、私はどうやってそれにふさわしい応えをすればいいのか分かりません、神さま！

1. 神の愛は永遠です。あなたは私を昔から愛して下さった。私を呼び、私を探し出して下さった。
2. ああ！神は愛のために身を捧げ、私を呼び、父の愛を授けて下さった。どんな嵐や危険があっても、神の恩恵は昼も夜も私を包み込んで下さる。
3. 私は心から一生を捧げ、心身を捧げて父の使徒となり、父の証人となり、父の真理を伝え、父の言葉を広めます。

(紙面の都合で歌詞の一部は割愛)

■信徒動静

◇帰天

イノチェンス廣兼 三喜子様(88才)が、10月17日にご帰天されました。

廣兼 三喜子様の天国での永遠の安らぎとご遺族の慰めと平安をお祈りください。

行事予定表 2024年11月

		ミサ・典礼		学校・会議・講座・勉強会	
日付	曜日	時刻	行事内容	時刻	行事内容
1	金	10:00	初金ミサ		
2	土	10:00 18:00	死者の日ミサ 英語ミサ	11:00	キリスト教入門講座
3	日	8:00 10:30	英語ミサ 日本語ミサ	ミサ後	教会清掃（国際部）
4	月				家族の日（友部修道院）
8	金	10:00	日本語ミサ		
9	土	18:00	英語ミサ	11:00	キリスト教入門講座
10	日	8:00 10:30	英語ミサ 日本語ミサ 七五三の祝福		教会清掃（全員）
15	金	10:00	日本語ミサ		
16	土	18:00	英語ミサ	11:00	キリスト教入門講座
17	日	8:00 10:30 15:00	英語ミサ 日本語ミサ スペイン語ミサ (Misa en español)	ミサ後 9:20 11:30	教会清掃（国際部） 青年会「聖書のみことば」 定例役員会
22	金	10:00	日本語ミサ		
23	土	18:00	英語ミサ 国際部 待降節黙想会	11:00	キリスト教入門講座
24	日	8:00 10:30	英語ミサ（オノレ神父様司式） 日本語ミサ（オノレ神父様司式） 待降節黙想会 講師：オノレ神父様 ・ミサ中：第1講話 ・ミサ後：第2講話	9:20	IWJC
26	火				教会だより編集会議
29	金	10:00	日本語ミサ		
30	土	18:00	英語ミサ	11:00	キリスト教入門講座

・12月の予定

12/1（日） クリスマス飾り付け

12/24（火） 19:00 主の降誕（夜半のミサ） 日本語ミサ 21:00 英語ミサ

12/25（水） 10:00 主の降誕（日中のミサ） 日本語英語合同ミサ